

毎年9月8日は、UNESCO国際識字デー (International Literacy Day)

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 毎年9月8日は、「ユネスコ国際識字デー (UNESCO International Literacy Day)」です。
(2) 世界には、「働かなければならない」「学校が近くにない」などの理由で、①学校に通えない子供が約6億7000万人、②また、学校に行けず大人になり、文字の読み書きができない人(非識字者)が約7億9600万人(世界の人口の5人に1人、そのうち約3分の2は女性です)がいます。
(3) 国際識字デーは、1965年のUNESCO総会で宣言され、1966年9月8日に、初めての「国際識字デー」を迎えました。
2. (1) 日本ユネスコ協会連盟では、この識字問題に「ユネスコ世界寺子屋運動」として1989年から取り組み、今日まで20年以上の活動を実施しています。
(2) 設立17年目を迎えた開倫ユネスコ協会でも、設立前も含め20年以上、ユネスコの世界寺子屋運動に参加。
(3) 「書き損じはがき」の回収と換金により、子供たちや大人が学びの場、寺子屋で読み書きや算数などを学べるように、教育の機会を提供する運動に参加しています。
3. (1) パリにあるユネスコ本部の、2017年の「国際識字デー」のテーマは、「Literacy in a digital world」、
「デジタル化された世界でのリテラシー」です。
(2) <議論すべきとされる agenda >
① Rethinking literacy in a digital world.
② Knowledge share : Findings of a landscape of review of digital solutions for low-skilled and low-literate people.
③ Literacy in a digital world : Risks and responses.
④ Literacy monitoring and assessment in a digital world.
(3) 1965年から50年経過して識字教育の内容も大幅に変化し、今日のDigital Worldに対応するにはどうしたらよいか、2017年9月8日の「ユネスコ国際識字デー」では議論されるまでになりました。

皆様はどうお考えになりますか。

2017年8月28日(月)8時48分